

国連人口基金（UNFPA）・国際家族計画連盟（IPPF）事務局長来日

「女性が輝く社会」を実現するための取り組みの一環として、日本政府が主催する「国際女性会議（WAW! 2016）」に参加するためにババトウンデ・オショティメイン国連人口基金（UNFPA）事務局長とテウォドロス・メレッセ国際家族計画連盟（IPPF）事務局長が訪日し、JPFP メンバーと交流の機会を持ちました。それぞれご報告いたします。

ババトウンデ・オショティメイン UNFPA 事務局長

国際人口問題議員懇談会（JPFP）は、12月13日、ババトウンデ・オショティメイン UNFPA 事務局長を迎え、合同部会を開催いたしました。

講演の中で、オショティメイン UNFPA 事務局長は、逢沢一郎 JPFP 会長代行および武見敬三 JPFP 幹事長・AFPPD 議長をはじめとする日本の国会議員の尽力により、人口問題が G7 サミットおよび TICAD VI の成果文書に盛り込まれたことに感謝の意を表しました。一方、今回米国大統領選挙で共和党が勝利したことで、UNFPA の活動に大きな影響を及ぼすとの懸念が示されました。これまで共和党政権は、人口問題と妊娠中絶の問題を関連付け、UNFPA への拠出を全て停止してきました。そのため、「UNFPA が引き続きリプロダクティブ・ヘルス（RH）、家族計画、女性のエンパワーメント、ジェンダーの平等といった問題に取り組んでいくためにも、日本のさらなる支援が必要です」と日本の支援を要請しました。

この発言を受け、逢沢一郎 JPFP 会長代行からは、「日本の財政事情は厳しく、加えて円安という不利な状況ではありますが、人間の安全保障を脅かす課題が山積しており、人口・開発は最も大切な問題であることから、懸命に努力をしたい」との発言がありました。



続いて、武見敬三 JFPF 幹事長・人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD）議長からは、UNFPA への拠出を確保するよう尽力を続ける一方、JFPF もメンバーである、人口・開発問題に取り組む国会議員のアジア・太平洋地域のネットワークである AFPPD への UNFPA からの資金協力が減額され、その活動に影響がでることから、UNFPA の協力を求めるとともに、高齢化や若者への投資といった主要な問題について、戦略的な枠組みを構築し、中心的な役割を担っていただきたいとの要請がなされました。

三原朝彦 JFPF 幹事、川田龍平 JFPF 幹事からは、国際連帯税や中進国からの拠出など、財源確保に向けた新たな取り組みについて提案があり、活発な意見交換が行われました。



テウオドロス・メレッセ IPPF 事務局長

またテウオドロス・メレッセ IPPF 事務局長も、福田康夫 JFPF 名誉会長、逢沢一郎 JFPF 会長代行、阿部俊子 JFPF 副幹事長を表敬訪問し、IPPF に対する日本政府並びに JFPF の長年の協力にお礼を述べました。また WAW で安倍総理が「途上国における女性のために、権利の尊重、能力発揮のための基盤の整備、そしてリーダーシップの向上を重点分野として、2018 年までに総額約 30 億ドル以上の取組を着実に進める」と表明されたことに触れ、女性が輝く社会を作る上で、最も基礎となるものが RH の完全普及と、それを通じた暴力の廃絶であり、安倍総理の表明を実現する上でも、IPPF の活動が極めて重要であり、日本と IPPF とのさらなるパートナーシップの強化を図ることが重要であると働きかけました。

IPPF は、世界最大級の国際保健 NGO として 180 か国以上でセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス（SRH）に関するサービス提供、啓発や教育、政策提言活動を行っており、JFPF とは JFPF 創設時より 40 年以上にわたる協力関係にあり、また長年 JFPF 活動を支援してくださっています。



写真提供：ジョイセフ



国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局
（公財）アジア人口・開発協会（APDA）

TEL: 03-5405-8844

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>

JPFP 入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

尚、本ニュースレターの配信停止をご希望の方は apda@apda.jp までお願いいたします。